エコアクション２１

環境経営レポート

取組期間
2022年度（2022年4月～2023年3月）

第5版

作成　2023年5月31日

目　次

環 境 経 営 方 針	P1
事業の概要	P2
各部門の紹介	P3
EA21推進体制	P4
環　境　負　荷	P5
環境経営目標（全 社）	P6
環境経営活動計画	P7
環境目標の実績、評価と今後の取組内容	P8
具体的な取組状況	P9、10，11
キクイモ収穫～製品加工	P12
グリーン商品購入一覧表	P13
環境法規類の一覧及び遵守評価	P14，15
代 表 者 に よ る 全 体 の 評 価 と 見 直 し 記 録	P16
次年度の中長期環境経営目標	P17

環 境 経 営 方 針

環境理念

大仁産業株式会社は、建設業に携わる事業者として、人と自然を大切にし、よりよい地球環境の創造及び地域社会に貢献することを目指すため、環境方針を定め、以下の事項について積極的に環境活動を推進する。

重点推進事項

（1）二酸化炭素排出量の削減
・電気　ガソリン　軽油等の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

（2）廃棄物の削減
・建設工事に伴う産業廃棄物について、分別回収による資源の有効活用に努めます。
・建設リサイクル法に従い適切なリサイクルに努めます。
・キクイモの廃棄物は再資源化する。

（3）水使用量の削減
・水道使用時の水量を削減し、総排水量の削減に努めます。

（4）グリーン購入
・循環型社会に貢献するためにグリーン購入を推進します。

（5）地域貢献
地域の清掃活動を実施して、地域に貢献していきます。

（6）環境関連法規制の遵守
・事業に関する環境関連法規制等を遵守します。

（7）環境経営の継続的改善に取り組みます。

制定：2017年12月01日
改訂：2020年7月11日

大仁産業株式会社
佐藤あさみ

事業の概要

（1） 事業者名　大仁産業株式会社

代表取締役　佐藤　あさみ

（2） 所在地

本社　　：　〒869-2401　熊本県阿蘇郡南小国町赤馬場3556－4
ネクサス資材置場：　〒869-2401　熊本県阿蘇郡南小国町赤馬場4328-6
竹の熊資材置場　：　〒869-2401　熊本県阿蘇郡南小国町赤馬場2027-1

（3） 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者　事務責任者
連絡担当者：　同上
連絡先　TEL：0967-42-0463　FAX：0967-42-0735

（4） 事業規模

資本金　5,000万円
社員数　17人（R3.07月現在）
売上高　4億1,700万円（R3.07月現在）

（5） 事業内容

土木工事業、舗装工事業、水道施設工事業、建築工事業、
解体工事業
不動産業、キクイモ生産加工販売、木材チップ加工販売

（6） 認証登録範囲

大仁産業株式会社の全組織(2)、全活動(5)を認証登録範囲とする。
（備考）除外項目
くじゅうわいた展望公園は、会長の個人事業経営なので、登録範囲から除外する。

＜各部門の紹介＞

工事部

H26県有林

H26茂園線

阿蘇管内パトロール

（木質チップ製造）
ネクサス資材置場にて、木質チップの製造を行い、本社で販売しています。
森林伐採材のリサイクルに積極的に取組んでいます。

住宅部　ココロホーム

私たちココロホームは
【住む人の笑顔の花が咲き誇るココロに寄り添う家創り】
を目指します！

これからも地域を大切にお客さまの望む家づくりを目指していきます。

農事部

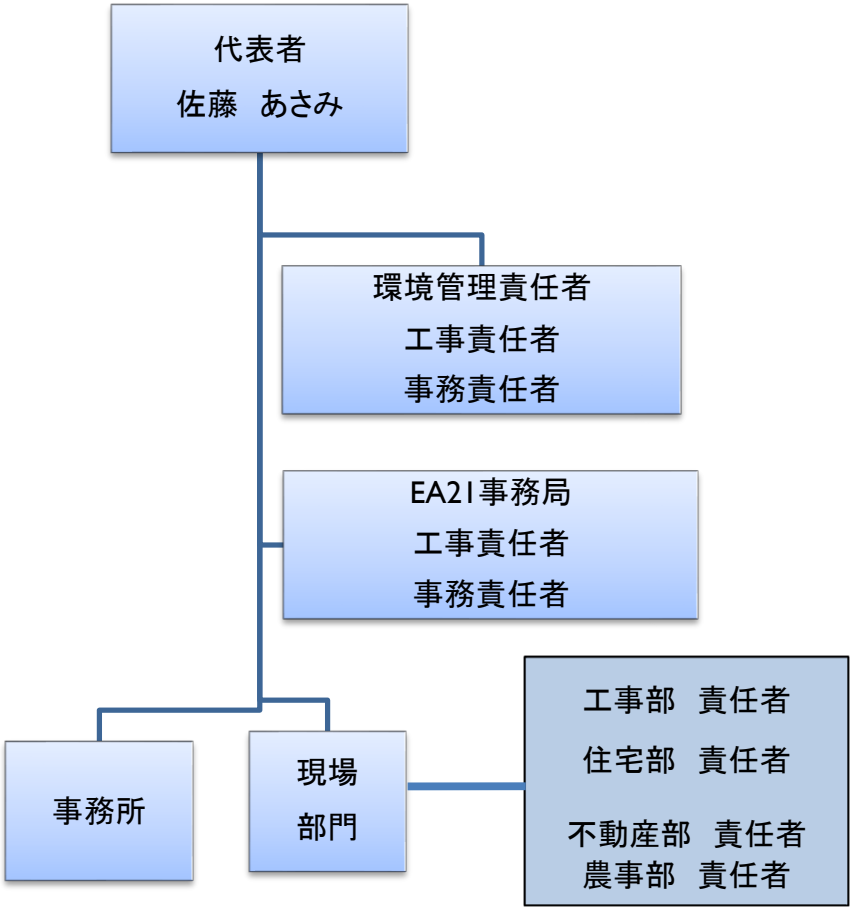
定年・退職者の継続雇用、障害者雇用の実現のひとつとして、耕作放棄地の有効利用に取組んでいます。その土地を活かし、小国郷特産のキクイモの植え付け・加工・販売を行っています。

不動産部

地域に密着した情報の有利性を活かして

地域に密着した情報の有利性を活かして本業の建設業と絡めたお客様のニーズに合わせた多様でオリジナリティのあるアドバイスの出来る業者を目指しております。この小国郷は、風光明媚なロケーションに加えて温泉も多数湧出しております。田舎に永住をお考えの方、農業を営みたい方、飲食業・宿泊業誠心、誠意をもってお応えしたいと思っています。

EA21推進体制



代表者	・環境方針の制定 ・環境組織の明確化、必要な資源の投入 ・全体の評価と見直し
環境管理責任者	・マネジメントシステムの構築、実施、維持 ・目標管理票の作成と進捗管理 ・目標に対する実績や問題、改善の社長報告 ・環境コミュニケーションの総括窓口 ・教育・訓練の総括（緊急事態の想定、訓練含む）
EA21事務局	・集計表作成 ・文書、記録作成 ・環境活動進捗の把握
事務所責任者 部門責任者	・環境活動の実施 ・環境管理責任者への報告 ・改善提案
社員全員	・環境活動の実施 ・環境管理責任者への報告 ・改善提案

環　境　負　荷

（年度の例　令和3年度：令和3年4月～令和4年3月）

番号	項　　目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
0	売上高 （百万円）	全社合計	432.5	297.0	537.0
1	二酸化炭素 排出量 (kg-CO2)	全社合計	188,713	267,964	212,933
1-1	電気使用量 （kWh）	全社合計	13,359	13,355	14,450
		本社（電灯）	8,392	9,157	8,592
		本社（電力）	4,967	4,198	5,858
1-2	ガソリン 使用量 （ℓ）	全社合計	11,607	11,615	13,284
		本社	2,736	3,516	3,559
		工事現場	8,871	8,099	9,725
1-3	軽油 使用量 （ℓ）	全社合計	60,222	90,933	67,898
		本社	265	204	0
		工事現場	59,957	90,729	67,898
2	産業廃棄物 （t）	合計量	1,642	415	597
		木くず	285	44	272
		がれき・ 廃コンクリ、廃アス	1,357	371	326
3	水使用量 （m3）	全社合計	736	523	578
		本社	736	523	578
4	資材 （t）	再生 クラッシャーラン	2,253	1,528	1,099

☆農事部の環境負荷は本社に含む

☆電気のCO2排出係数はR2年度九州電力調整後排出係数0.480kg-CO2/kWhを使用

☆売上の数値：前年度と対象年度の売上の平均値を採用している。

例)令和2年度の売上の数値＝(R1年度売上+R2年度売上)／2

※今年度から売上高は4月～3月の値を使用している。

環境経営目標 （ 全 社 ）

（年度の例　令和4年度：令和4年4月～令和5年3月）

		基準値	環境目標		
		令和3年度 R3.4～R4.3	令和4年度 R4.4～R5.3	令和5年度 R6.4～R7.3	令和6年度 R7.4～R8.3
番号	項目	環境目標	環境目標	環境目標	環境目標
1-1	二酸化炭素排出量 (kg－CO2) (kg－CO2／百万円)	基準度実績 916	基準年度実績 の１%削減 907	基準年度実績 の2%削減 898	基準年度実績 の3%削減 889
1-2	電気使用量の削減 (kWh) (kWh／百万円)	基準度実績 45	基準年度実績 の１%削減 45	基準年度実績 の2%削減 44	基準年度実績 の3%削減 44
1-3	ガソリン使用量の 削減 （ ℓ ） （ ℓ／百万円 ）	基準度実績 39	基準年度実績 の１%削減 39	基準年度実績 の１%削減 38	基準年度実績 の１%削減 38
1-3	軽油使用量の削減 （ ℓ ） （ ℓ／百万円 ）	基準度実績 306	基準年度実績 の１%削減 303	基準年度実績 の2%削減 300	基準年度実績 の3%削減 297
2-1	一般廃棄物の リサイクル推進	分別活動 の推進	分別活動 の推進	分別活動 の推進	分別活動 の推進
2-2	産業廃棄物の リサイクル推進 (t)	廃棄物の 再資源化 １００%維持	廃棄物の 再資源化 １００%維持	廃棄物の 再資源化 １００%維持	廃棄物の 再資源化 １００%維持
2-3	キクイモ食品廃棄物 再生利用等実施	再生利用等 実施率 １００%維持	再生利用等 実施率 １００%維持	再生利用等 実施率 １００%維持	再生利用等 実施率 １００%維持
3	水使用量の削減 (m3) (m3／百万円)	基準度実績 1.29	基準年度実績 の１%削減 1.28	基準年度実績 の2%削減 1.26	基準年度実績 の3%削減 1.25
4	グリーン購入	グリーン商品の現状 把握	1種類増加	1種類増加	1種類増加
5	地域貢献	１回/年	１回/年	１回/年	１回/年

☆電気のCO2排出係数はR2年度九州電力調整後排出係数0.480kg-CO2/kWhを使用
☆化学物質の使用はなし
☆環境経営の観点から考慮して、一般廃棄物、水使用量は行動目標とする。

☆☆二酸化炭素排出量＝電気使用量×0.480kg-CO2/kWh
＋ガソリン使用量×2.32kg-CO2/ℓ＋軽油使用量×2.58kg-CO2/ℓ

環境経営活動計画

項　　目	具　体　的　な　活　動	頻度	事務所	現場
1．二酸化炭素排出量	①昼休みの消灯	毎日	○	○
	②使用時以外のトイレの消灯	毎日	○	○
1-1.電気使用量	③ＯＡ機器,空調機の退社時の電源オフ	毎日	○	○
の削減	④空調機の室内温度設定・実施の徹底	毎日	○	—
	⑤空調機フィルター-の定期的清掃	年2回	△	—
	⑥日よけ、ブラインドによる室温上昇防止（夏季）	毎日	○	—
	⑦使用しない設備・機械の電源遮断、プラグ抜き	毎日	○	○
	⑧節電表示の徹底	毎日	○	×
	⑨使用時季(夏･冬)以外はブレーカーを切る(空調機)	適時	○	—
1-2　ガソリン使用料	①社用車エコドライブの推進・徹底（アイドリングストップ、経済運転など）	毎日	△	△
の削減	②車両点検の実施（車の状況、タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	○	○
	③低燃費代車を増やす	将来	—	—
	④社用車の車両別燃費の把握	毎月	○	○
1-3.軽油使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底（アイドリングストップ、経済運転など）	毎日	△	△
	②車両点検の実施（車の状況、タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	○	○
	③低燃費代車を増やす	将来	—	—
	④社用車の車両別燃費の把握	適時	—	○
2．廃棄物のリサイクル化	①廃棄物の分別促進	毎日	○	○
と廃棄物排出量	②リサイクル促進	毎月	○	○
の削減	③適切な業者の選定と引渡	適時	—	○
（一般・産廃共通）	④マニフェスト伝票の適切な管理	適時	○	○
（キクイモ食品廃棄物）	⑤キクイモ食品化時の廃棄物再生利用の推進	適時	○	○
3．水使用量の削減	①節水ステッカー表示	毎日	○	○
	②節水の工夫と実施（適量の給湯、出しっ放し防止など）	毎日	○	○
4．グリーン購入	①グリーン商品の把握	毎日	○	—
	②グリーン購入の推進	毎日	△	—
5．地域貢献	①ボランティア活動の実施	年1回	○	○

評価基準
○：出来た
△：改善の余地あり
×：出来なかった

環境目標の実績、評価と今後の取組内容

取組期間：令和4年度（令和4年４月～令和5年３月）

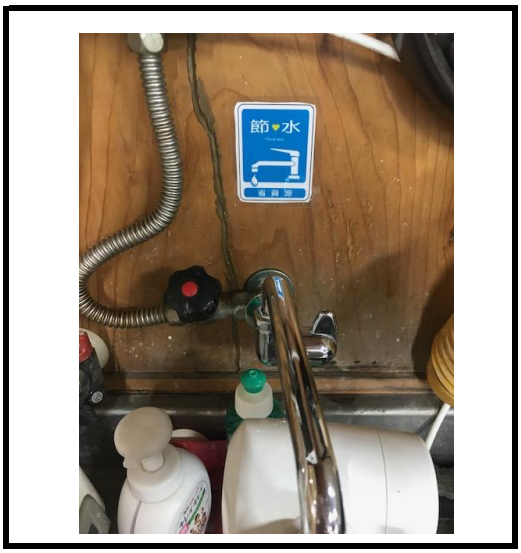
１．原単位（百万円当たり）比較による環境目標評価

項　目	R3年度実績 （R3年4月～R4.3月）	R4年度目標 （R4.3年4月～R5.3月） （前年比△1％）	R4年度実績 （R4.3年4月～R5.3月）	達成度	判定	評価及び今後の取組み内容
CO2排出量 （kg-CO2／百万円）	902	893	402	222%	○	ガソリン使用量、軽油使用量、電気使用量すべてにわたり達成できた。CO2排出量の高い目標達成率は特に軽油の使用量の激減が大きな要因である。工種として重機（軽油）を使用した工事が減ったことが原因である。これに伴い、作業効率が上がったことが推定される。また仕事量（売上高）が減少したことも達成率を上げた要因である。今後は、仕事量（売上高）も増加していくと思われるので、目標を達成するために、車両の運転等においても社員の意識向上に努めていく。エネルギーの削減は経費の削減にも影響する重要な活動である。
電気使用量 （kWh／百万円）	45	45	27	165%	○	
ガソリン使用量 （ℓ／百万円）	39	39	25	157%	○	
軽油使用量 （ℓ／百万円）	306	303	126	240%	○	
一般廃棄物の リサイクル	－	分別活動推進	分別活動推進	100%	○	昨年度に引き続き、分別活動推進できた。 社員の環境活動に関する意識も定着化してきた。社内文書も裏紙使用が徹底できた。工事現場では建設リサイクル法を順守するために廃棄物の保管場所の確保や分別活動の推進を実施した。当然の活動になりつつある。キクイモ食品廃棄物では、廃棄物は減容や飼料としての活用で再生利用を推進した。（別紙参照）今後共、廃棄物の分別活動を徹底していく。また、キクイモの再生利用を維持していく。
産業廃棄物の リサイクル	－	建設リサイクル廃棄物のリサイクル化 100%維持	建設リサイクル廃棄物のリサイクル化 100%維持	100%	○	
キクイモ食品廃棄物 再生利用等実施	－	キクイモ食品廃棄物 再生利用等実施率 100%維持	キクイモ食品廃棄物 再生利用等実施率 100%維持	100%	○	
水使用量	－	節水活動の推進	節水活動の推進	100%	○	節水活動を推進できた。 今後共、社員の意識向上に努めていく。
グリーン購入	－	グリーン商品の 現状把握	現状が把握できた	100%	○	グリーン商品を使用（別紙参照） 今後共、機会があればグリーン購入を推進していく。
地域貢献	地域清掃	1回/年	清掃活動を 実施した。	100%	○	地域清掃活動も浸透してきた。今後は、さらに効果を考えた清掃を計画し、継続していく。

具体的な取組状況

①CO2排出量削減

②水使用量削減



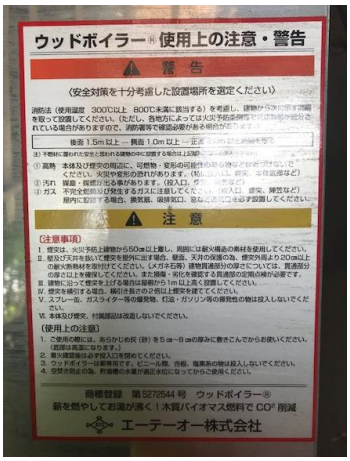
③分別活動の推進

ペットボトル、カンビン、燃えるゴミ

ガラス、ペットボトル、小金属

④環境への配慮

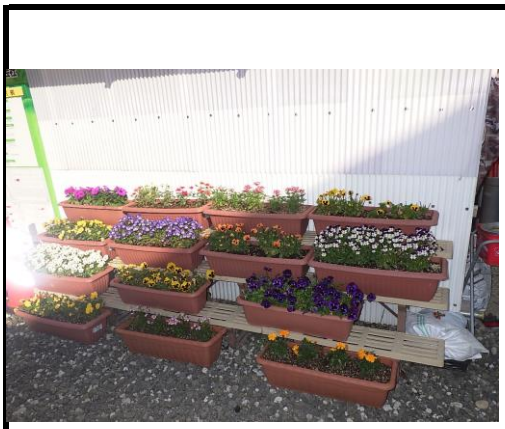
ウッドボイラーの導入（薪の利用）



⑤地域貢献

ボランティア活動（道路清掃）

④環境への配慮



⑤地域貢献

ボランティア活動（道路清掃）

具体的な取組状況(2)

⑥キクイモ生産

⑦木チップの紹介

⑧木質バイオマス発電の紹介

キクイモ収穫～製品加工
キクイモ食品廃棄物再生利用等実施評価表

	R4.1-R4.9		R4.10-R4.12		年間合計	
収穫量	5,862	kg	2,672	kg	**8,534**	kg
（種芋） （出荷不良含む）	320	kg	144	kg	**464**	kg
出荷量 （加工へ）	5,542	kg	2,528	kg	**8,070**	kg
水洗後 損傷部切取り	135	kg	59	kg	194	kg
減容量 **（乾燥82%）**	4,434	kg	2,025	kg	6,458	kg
再生利用量 **（飼料）**	135	kg	59	kg	194	kg
販売量	**973**	kg	**444**	kg	**1,418**	kg
再生利用等実施率＝損傷部切取り194 /再生利用量194＝1＝100%						

グリーン商品購入一覧表

	商品名
1	コピー用紙　A4
2	コピー用紙　A3
3	ラベルインデックス
4	インクカートリッジ　IC59シリーズ
5	インクカートリッジ　IC50シリーズ
6	パイプ式ファイル両開きA4縦
7	チューブファイル　A4タテ
8	フラットファイル　A4タテ
9	ネームランド　テープ
10	ボールペン
11	消しゴムモノ
12	シャープ替芯　HB

環境法規制登録表（遵守評価表　　環境法規類の一覧及び遵守評価

1）環境法規類の遵守評価の結果、遵守していることを確認しました。

2）関係する行政や機関からの指摘や指導はありませんでした。

3）苦情や訴訟もありませんでした。

遵守評価日：**令和5年4月20日**　　評価者　服部佳子

法規制等	適用内容	対象設備、施設	届出	遵守事項（法規制/自主規制）	頻度等	記録	遵守評価	コメント
廃棄物処理法	産業廃棄物の保管	産業廃棄物置場	ー	（法規制）				
				1.表示板の設置	設置時	（表示板）	○	
				（自主規制）				
				1.清掃、漏洩防止	1回/週（確認）	ー		
	委託契約書	委託業者		（法規制）				
			ー	1.委託契約書（書面）	契約時	委託契約書	○	
	マニフェスト伝票管理	委託業者	ー	（法規制）				
				1.マニュフェストの発行、管理	処理委託時	マニュフェスト伝票	○	
				2.各票の受領確認	発行後	マニュフェスト伝票	○	
	産業廃棄物の運搬	運搬作業		（法規制）				
				1.産業廃棄物運搬の表示	運搬時		○	
				2.マニフェスト伝票の携帯	運搬時		○	
				（法規制）				
	産業廃棄物管理票交付等	産業廃棄物		1.マニフェスト伝票の集計（4月～翌年3月の1年分	1回／年	産業廃棄物管理票交付等	○	
	状況報告			2.マニフェスト伝票の携帯（同年4月～6月に届出）	1回／年	状況報告書	○	
建設リサイクル法	建設（土木）工事に係る資材	土木工事資材		（法規制）				
	の再資源化の促進			1.土木工事に係る分別、再資源化の実施	対象工事実施時	施工計画書	○	
			○	2.対象工事の7日前までの市町村長への届出			○	
			○	3.再資源化完了の書面報告			○	
				1.食品廃棄物の把握			○	
食品リサイクル法	キクイモ生産	キクイモ生産現場		2.必要に応じて以下のような廃棄物抑制策を実施する。	キクイモ生産時	数量表	○	
	（食品廃棄物）			①食品資源の再利用			○	
			ー	②食品廃棄物等の発生抑制			○	
				③食品廃棄物等の減量			○	

法規制等	適用内容	対象設備、施設	届出	遵守事項（法規制/自主規制）	頻度等	記録	遵守評価	コメント
騒音規正法	土木工事における騒音規制 の順守	特定建設作業	 ○ ○	（法規制） 1.規制基準に従った施工方法の実施 2.適切な工事時期の設定	 対象工事実施時	 施工計画書	 ○ ○	
振動規正法	土木工事における振動規制 の順守	特定建設作業	 ○ ○	（法規制） 1.規制基準に従った施工方法の実施 2.適切な工事時期の設定	 対象工事実施時	 施工計画書	 ○ ○	
消防法 （適用外：指定数量の1/5 以内の保管）	適正な保管 重油：2000×1/5＝400ℓ 潤滑油：6000×1/5＝1200ℓ	 倉庫	ー	（自主規制） 1.規定保管数量の遵守 2.5Sの推進、漏洩なきこと	 購入、保管時 使用時	 ー ー	 ○ ○	
家電リサイクル法	テレビ、（小型）エアコン使用	テレビ、	ー	（法規制）				
PCリサイクル法	PC、周辺機器使用	家庭用エアコン パソコン類	ー	1.リサイクル料支払い（発生時のみ） 2.廃棄時の適正処置（発生時のみ）	支払い時 廃棄時	領収書 業者報告書等	○ ○	該当なし 該当なし
自動車リサイクル法	公用車の適切な廃棄	公用車	ー	（法規制） 1.リサイクル料支払い（発生時のみ） 2.廃棄時の適正処置（発生時のみ）	 支払い時 廃棄時	 領収書 業者報告書等	 ○ ○	 該当なし 該当なし
フロン排出抑制法	業務用エアコンの廃棄 （フロン使用）	業務用エアコン 室外機 業務用エアコン （フロン使用）	ー	（法規制） 1.定期点検の実施（3ヶ月毎） 2.廃棄時の適正処理（発生時のみ） 処理委託書提出、処理報告書の受理	 適時（3ヶ月毎） 廃棄時	 点検表 領収書、業者報告書等	 ○ ○	 該当なし 該当なし

代表者による全体の評価と見直し記録

1．全体の評価　　報告：環境管理責任者　服部佳子

No.	評価事項	評価結果（指摘事項）	改善内容	期限	改善責任者
1	環境関連法規等の順守状況	遵守できている。 特に問題はなし			
2	環境目標の達成度 活動の進捗状況等の確認	①CO2排出量削減で、ガソリン、軽油使用量、 電気使用量は目標を達成できた。 ②その他の目標も達成できた。 ③環境活動は、取組みを実施した。	今後もエネルギー削減を心がけ 社員全員で目標達成を目指していく。	令和5年 5月10日	環境管理責任者
3	環境に関する苦情や要望対応状況	苦情・要望などは発生していない。			
4	前回の代表者の指示事項への対応	特になし			
5	その他指示事項	特になし			

2．全体の評価と見直し　　実施日：令和5年5月3日　　代表取締役　　佐藤　あさみ

全体の評価

エコアクションを推進し目標を達成できた事は大きく評価できる。今後は照明や空調など室内環境・事業所内の人間関係など、労働災害防止のための最低基準を守るだけでなく、快適な職場環境の実現と労働条件の改善を通じて安全と健康を確保することに努めたい。

見直し事項

No.	環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑの見直し事項	見直し結果	改善内容	期限	改善責任者
1	環境方針、環境目標、環境活動 の変更の必要性	継続する。			
2	環境経営システムの変更の必要性	継続する。			
3	実施体制	継続する。			
4	その他	継続する。			